

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 大腸憩室出血における直接経口抗凝固薬(DOAC)とeGFRの関連を検討する
後ろ向き観察研究』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋 病院

研究責任者 消化器内科 助教 岡本 陽祐

【情報の利用目的】

取得した情報は、大腸憩室出血症例における直接経口抗凝固薬(DOAC)と腎機能の指標であるeGFRの関連を明らかにすることを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、大腸憩室出血の治療や管理を最適化することに役立ちます。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、放射線画像データ、内視鏡画像データ、再出血の発生状況 等
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。本研究で得られた情報は大変貴重です。新たに倫理委員会の承認を得たのちに有用と考えられる新規の研究に二次利用される可能性があります。その際は、研究情報を本東邦大学医療センター大橋病院および医学部倫理委員会のホームページに掲載し二次利用を拒否する機会を設けます。

【情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年12月より利用を開始します。

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊 学

【情報の取得方法】

対象者: 2014年1月1日～2025年6月30日までに東邦大学医療センター大橋病院において、大腸憩室出血のために入院治療を行った方

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 岡本 陽祐 役職: 助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 岡本 陽祐

共同研究者: 日原 大輔

共同研究者: 齋藤 孝太

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 岡本 陽祐

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026 年 3 月 31 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は利用しません。また、認知機能低下者、亡くなっている方の代諾者からの申し出もお受け致します。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科

職位・氏名 助教 岡本 陽祐

電話 03-3468-1251 内線 7263